

会 議 録

会 議 名	平成25年度第4回目黒区環境審議会
日 時	平成26年3月26日（水）午後6時30分～午後7時50分
会 場	目黒区総合庁舎本館 地下1階 第15・16会議室
出 席 者	委員) 伊藤委員、武藤委員、青木委員、森委員、梶田委員、早野委員、倉田委員、木元委員、藤橋委員、高林委員、清水委員、藤富委員、小田委員、原委員、小田切委員、太田委員、豊田委員 合計 17名
	区側) 環境清掃部長、環境保全課長、清掃リサイクル課長、清掃事務所長 みどり公園課長
傍 聴 者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
配 布 資 料	(事前配布資料) 資料25-4-1 目黒区環境学習実行プラン改定案について 資料25-4-2 目黒区地球温暖化対策推進実行計画(めぐろエコ・プラン)改定(案)について 資料25-4-3 目黒区地球温暖化対策地域推進計画改定案について 資料25-4-4 平成26年度における放射性物質への対応について(案) 資料25-4-5 目黒区生物多様性地域戦略について (当日配布資料) 資料25-4-6 環境基本計画における重点プロジェクト テーマ2「節電」からはじめるライフスタイルの転換」の進捗状況について 資料25-4-1の追加資料 目黒区環境学習実行プラン改定素案、関係所管からの意見一覧表 資料25-4-7 本日の議事についてのご意見
会 議 次 第	1 開 会 2 議 題 (報告事項) (1) 目黒区環境学習実行プラン改定案について (2) 目黒区地球温暖化対策推進実行計画(めぐろエコ・プラン)改定(案)について (3) 目黒区地球温暖化対策地域推進計画改定案について (4) 平成26年度における放射性物質への対応について(案) (5) 目黒区生物多様性地域戦略について (情報提供) (1) 環境基本計画における重点プロジェクト テーマ2「節電」からはじめるライフスタイルの転換」の進捗状況について 3 その他 4 閉 会

<p>会議の結果 及び 主要な発言</p>	<p>1 開 会</p> <p>(1) 定足数について</p> <p>○ 環境保全課長 本日出席者は、現在15名である。環境審議会規則第5条に定める半数以上のため、定足数に達している。</p> <p>(2) 傍聴について</p> <p>○ 会長 目黒区情報公開条例第24条の規定により公開することをご了承いただきたい。傍聴者については資料の配布含め許可したい。 (全員異議なし)</p> <p>(3) 配布資料の確認</p>
	<p>2 議 題</p> <p>(報告事項)</p> <p>(1) 目黒区環境学習実行プラン改定案について</p> <p>○ 環境保全課長 (資料25-4-1に基づき、説明を行った。)</p> <p>○ 会長 今回の実行プランは、進行管理が可能なかたちで取りまとめることができるように作成されている。改定案について気づいた点や質問があれば発言をお願いしたい。</p> <p>○ 委員 資料9ページに「区内では子どもの人口が増えてきている」とあるが、具体的にどのくらい増えているか。</p> <p>○ 環境保全課長 少子高齢化と言われているが、目黒区としては、実際、子どもの人数は増えている状況である。待機児童にも対応しているが、対応しきれていない状況である。 資料の訂正がある。今説明した資料で「関係所管からの意見一覧表」について、清掃リサイクル課の意見に記載されているページ数が37ページではなく、39ページが正しい。</p> <p>(2) 目黒区地球温暖化対策推進実行計画 (めぐろエコ・プラン) 改定 (案) について</p> <p>○ 環境保全課長 (資料25-4-2に基づき、説明を行った。)</p> <p>○ 会長 改定 (案) について気づいた点や質問があれば発言をお願いしたい。</p> <p>○ 委員 資料7ページ(4)緑化の量(緑化面積)について、区有施設の緑化面積があるが、</p>

<p>会議の結果 及び 主要な発言</p>	<p>どのように算出しているか。また、区有施設における緑被率は算出しているか。</p> <p>○ 環境保全課長 緑化面積は、各所管に対して工事面積を調査し、算出している。また、区有施設の緑被率については、把握していない。</p> <p>○ 委員 現状の把握は必要であると思う。</p> <p>○ みどりと公園課長 緑被率は平成16年度に実施したみどりの実態調査によるものである。平成26年度にみどりの実態調査を実施する予定であり、この結果で最新の緑被率が明らかとなる。</p> <p>○ 委員 資料に「木製品等の購入等」とあるが、具体的にはどのようなことか。</p> <p>○ 環境保全課長 例えば、学校を改築した際、廊下に木製ベンチを設置するといった取組みである。</p> <p>○ 会長 資料5ページに「6%以上の削減目標を達成できる見込みである」とあるが、今後のことを考えると楽観視はできない。そのことについて、計画のどのあたりから読み取ればよいか。</p> <p>○ 環境保全課長 資料16ページに、区有施設における温室効果ガスの排出量の推移についての数値が出ています。2011年度の総排出量が18,879t-CO₂であり、前年度と比較すると下がっているが、2012年度は19,248 t-CO₂と上がっている状況です。 ただ、区の施設では節電を定着させているため、同様に10.7%削減はできています。委員指摘のとおり、前年度から1%下げるとするのは、難しくなってくる。今後は、定着した節電をどのように続けていくかが課題です。 さらに、節電する方法として電球のLED化、区の施設として改修した場合には新しい省エネ機器の取入れなどで達成を目指したい。</p> <p>○ 委員 資料17ページの表1について、電気は東京電力、都市ガスは東京ガスの単位を使用していると思う。しかし、エネルギーの自由化が進む中で、電力会社などによって使用する単位はさまざまです。 今後、排出係数の少ない会社を利用することが大前提だと思うが、経済性とのマッチングもある。その環境性と経済性の2つのファクターについて、どのように決めていくか。</p> <p>○ 環境保全課長 契約課の所管となるが、現在、特定規模電気事業者とは54施設で契約をしている。ただし、経済的な面のみであり、排出係数の高い事業者とも契約を行っている。今</p>
-------------------------------	--

<p>会議の結果 及び 主要な発言</p>	<p>後は環境の視点も必要である。</p> <p>(3) 目黒区地球温暖化対策地域推進計画改定案について</p> <p>○ 環境保全課長 (資料25-4-3に基づき、説明を行った。)</p> <p>○ 会長 先程の説明で、対応区分が「5 意見の趣旨に沿うことは困難」の中で、自動販売機についてうかがいたい。 現在、目黒区内にどのくらいの自動販売機が設置されているか、そのうち、緊急対応が可能な機種はどのくらい導入されているか。</p> <p>○ 環境保全課長 自動販売機の設置台数等は把握していない。ただ、データによれば、自動販売機の省エネはかなり進んできている。</p> <p>○ 委員 地震が起きた際、自動販売機は倒れる恐れがある。そのあたりはチェックできているか。区として指導すべきではないか。</p> <p>○ 環境保全課長 多くの場合、自動販売機は私有地に設置されている。敷地内に設置されたものは、区に指導する権限はない。道路上に設置されたものであれば、指導することができる。</p> <p>○ みどり公園課長 ボルトで固定されているため倒れにくくはなっている。</p> <p>○ 委員 ボルトで固定しているから大丈夫ということではない。</p> <p>(4) 平成26年度における放射性物質への対応について (案)</p> <p>○ 環境保全課長 (資料25-4-4に基づき、説明を行った。)</p> <p>○ 会長 資料2ページの「エ 放射線量低減措置」に記載の場所はどこか。</p> <p>○ 環境保全課長 東山貝塚公園である。ただ、数値は国の基準より低い。</p> <p>(5) 目黒区生物多様性地域戦略について</p> <p>○ みどり公園課長 (資料25-4-5に基づき、説明を行った。また素案からの変更点に関する説明を行った)</p> <p>○ 会長 気づいた点や質問があれば発言をお願いしたい。</p>
-------------------------------	---

<p>会議の結果 及び 主要な発言</p>	<p>○ 委員 資料59ページに関連することだが、すずめのお宿緑地公園の竹が何本も倒れていると聞いたが、把握しているか。</p> <p>○ みどりと公園課長 具体的には把握していないが、雪の影響で倒れたものと考えられる。 現在、大岡山小学校の児童が、すずめのお宿緑地公園で竹を育てる取組みを行いたいという話がある。これから竹林の保全・育成について児童を含めて一緒に考えていきたい。</p> <p>○ 委員 資料53ページに、いきもの発見隊の調査の写真が掲載されている。これは目黒川船入場で行っていると思うが、上流での調査は行っているか。 目黒区内で飲料水として利用できる地下水はあるか。菅刈公園の樹木の立枯れ問題も絡んでくるが、区民から心配の声も出ている。 資料22ページにある樹木の太さ、ボリュームの関係について、平成26年度に行うみどりの実態調査で結果が出るか。また、私有地でも区と事前に協議して、みどりを残すことができるというが、今回の評価はいかがか。</p> <p>○ みどりと公園課長 船入場から上流の調査は実施していない。上流は水深が浅く、夏場は水温も高くなる。酸素も無くなるため、生き物の定着は難しい。 地下水に関しては後に回答する。菅刈公園については、崖地が少し乾いてきていることで、クヌギなど大きな樹木の立ち枯れ状態が顕著になってきているのは把握している。 平成26年度に実施するみどりの実態調査における緑被率の調査方法は、撮影用の飛行機で上空から写真を撮り、調べる。私有地のみどりの保全については、みどりの条例に幹周りが80cm以上の樹木を伐採しようとする場合は、区と保全についての協議をする必要があり、できるだけ樹木を残してもらうよう所有者へ提案をしている。</p> <p>○ 環境保全課長 湧水について、井戸の中は水位が低く、飲める状況に無いものが多い。ただ、自主的に湧水を調査し、実際に飲料水として利用している家庭もある。状況によって飲める飲めない場合もあり、勧めることはできない。 区内に目黒不動尊、東山貝塚公園ほか7～8箇所湧水の出る場所があり、湧水を調査する団体もある。</p> <p>(情報提供) (1) 環境基本計画における重点プロジェクト テーマ2 「節電」からはじめる ライフスタイルの転換」の進捗状況について</p> <p>○ 環境保全課長 (資料25-4-6に基づき、説明を行った。)</p>
-------------------------------	--

<p>会議の結果 及び 主要な発言</p>	<p>○ 会長 質問に入る前に確認したい。今後の予定について、もう少し具体的に説明してほしい。</p> <p>○ 環境保全課長 5月くらいに提案会議を開催したいと思っている。今年中に、試作のホームページのアップを検討している。</p> <p>○ 委員 「特にエコでおしゃれな情報の発信」とあるが、具体的にどのような情報があるか。</p> <p>○ 環境保全課長 現在、大学講師、栄養士など4名にご協力いただき、準備会を行っている。例えば、「お鍋1つで作れる料理」、「1人分なら電子レンジを活用するとよい」などちょっとした工夫でエコにつながる提案ができないかなどを話し合っている。 具体策としては、まだまとまっていない。</p> <p>○ 委員 新しいライフスタイルを提案していくことは、大規模な企画になると思う。基本的に、エコライフめぐろ推進協会が中心となるか。</p> <p>○ 環境保全課長 エコライフめぐろ推進協会が行うことにより、自由度が広がり、エコにつながるお店の紹介などができる。</p> <p>○ 委員 エコライフめぐろ推進協会のホームページを多くの方に見てもらわないといけない。今後、進めていく上でもっと工夫する必要がある。</p> <p>○ 会長 適宜、進捗状況について環境審議会で行っていただきたい。</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 二酸化窒素測定器具の貸出しについて</p> <p>○ 環境保全課長 前回の審議会で二酸化窒素測定器具の貸出し事業について問い合わせがあったので回答したい。 平成4年度から貸出しを開始した。平成21年度から平成23年度まで申請がないため、平成23年度で貸出しを終了した。このため、現在は貸出しを行っていない。</p> <p>(2) 次回の審議会について</p> <p>○ 環境保全課長： 今回は、時期ははっきりしていないが平成26年6月又は7月ごろを予定している。日時については後日改めて通知したい。</p>
-------------------------------	---

	4 閉 会
--	-------

以 上